

研究成果の社会還元加速のための リーンスタートアップ・プログラムのご案内

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム (START)
＜社会還元加速プログラム＞

SCORE

program of
Start-up incubation
from
COre
REsearch

社会還元加速プログラム (SCORE) は、成長ポテンシャルの高い大学等発ベンチャー企業の創出を促進するため、科学技術振興機構が関わって創出された優れた技術シーズの社会還元を加速、充実させることを目的に、H29年度から開始した、ビジネスモデルの現実化、高度化を行い、起業やSTART事業への申請に繋げて、社会還元を加速させていくプログラムです。



概要 (平成29年度)

支援件数	10～15課題程度 ※ブラッシュアップ研修へ進む課題数。 導入セミナー・ワークショップは原則応募者全員の参加を想定 (詳細裏面参照)
プロジェクト期間	単年度
支援資金	基本額として直接経費で3百万円 ※ブラッシュアップ研修へ進んだ課題への支援資金。 活動内容のコミットメント等に応じ上限1千万円までの申請も可能
募集対象	「研究代表者」と「EL (Entrepreneur Lead)」のチームでの応募 (詳細裏面参照)
対象研究開発	・MVP※を期間内に顧客に一回以上提示可能で、更に安全な顧客評価が可能な技術分野。 ・顧客評価に対して許認可等が必要な技術分野は対象外。 (※MVP:裏面参照)

公募中
エントリー締切 8月2日(水)正午

【お問い合わせ先】

国立研究開発法人科学技術振興機構
SCORE募集担当窓口
Tel : 03-5214-7054
E-mail : start-score@jst.go.jp



SCOREの枠組み

- 研究者やアントレプレナー志望者等が、リーンスタートアップ手法等のベンチャー起業・成長に有益な知識を学習します。
- その後、ベンチャーの成長力やリスクマネー獲得の可能性などを高めるため、自らの技術シーズを元にして実用検証可能な最小限の試作物(MVP※)を作製し、想定顧客等の評価を受け、それにより得られた評価結果や社会ニーズを、次に行う研究開発の方向にフィードバックさせることでビジネスモデルを現実化、高度化させます。この一連のループの経験を通して、ベンチャーに必要な能力の向上やネットワーク形成も図ります。
- また、MVP※を評価できる想定顧客企業の仲介や、起業に係わるネットワーク形成等にあたり、メンター等の助言や協力を効果的に得る支援体制を構築することも目標とします。

※ MVP:Minimum Viable Products(実用検証可能な最小限の試作品)
完全な製品を目指す開発手法と異なり、事業仮説の検証が目的なので最小限の機能に絞り込んだ試作物等を指し、必須機能が欠如していても事業仮説の検証ができれば許容される。

応募の要件(一部)

応募の主な要件

- 応募時点において、研究代表者が、申請の核となる技術シーズ(JST事業の成果)の発明者である、もしくは発明に関わった者であること。
なお、シーズとは特許(出願中のものを含む)、プログラム等をいいます。
- 申請の核となる技術シーズについては、本プロジェクトを通じて創出されるベンチャー企業の実施に関してその技術シーズの発明者、技術シーズが所属する機関等の同意が得られていること。
- 研究代表者とELのチーム体制を構築できること。

研究代表者とELの要件(一部)

- 研究代表者
 - ・過去もしくは現在、JSTが関わって創出された技術シーズを有する者であること。技術シーズが特許の場合は、その発明者、もしくは発明に関わった者であること
 - ・申請時に日本国内の大学等に所属し、研究開発プロジェクトの実施期間中、中心となってMVPを作製するための研究開発を行い、ELに対して技術協力を惜しみなく提供する者。
- EL(Entrepreneur Lead)
研究代表者の技術を基にした起業化の展開において、ビジネスモデルの仮説立案検証等の活動を中心的に行う者。学内外を問わず、研究代表者と二人三脚の協働で活動を行える者を想定。研究代表者が所属する研究室のポスドクや所属大学URAなど、研究機関の了解があれば学生も可。
(意欲と決意をもってELの活動に参加できる場合は研究代表者がELを兼ねる事も可)

プログラムイメージ

※実際のプログラムは、アントレプレナー教育実施機関提案の企画により変わる場合があります。

